

**Agilent**  
**LTE-CDMA InterRAT用**  
**IFTスクリプト**  
**(N5973A-1FP)**

インストール・ガイド



## ご注意

© Agilent Technologies, Inc. 2012

米国および国際著作権法の規定に基づき、Agilent Technologies, Inc.による事前の同意と書面による許可なしに、本書の内容をいかなる手段でも（電子的記憶および読み出し、他言語への翻訳を含む）複製することはできません。

### 商標に関するご注意

Windows®、MS Windows XP®、MS Windows 7®はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

### 保証

本書に記載した説明は「現状のまま」で提供されており、改訂版では断りなく変更される場合があります。また、アジレント・テクノロジー株式会社（以下「アジレント」という）は、法律の許す限りにおいて、本書およびここに記載されているすべての情報に関して、特定用途への適合性や市場商品力の黙示的保証に限らず、一切の明示的保証も黙示的保証もいたしません。アジレントは本書または本書に記載された情報の適用、実行、使用に関連して生じるエラー、間接的及び付随的損害について責任を負いません。アジレントとユーザが別途に締結した書面による契約の中で本書の情報が適用される保証条件が、これらの条件と矛盾する場合、別途契約の保証条件が優先されます。

### コンプライアンス宣言

本製品は、一般に認められた業界標準に従って設計およびテストされ、安全な状態で提供されています。安全に操作を行い、本製品の安全性を保つためには、本書に記載されている情報および警告をユーザが順守する必要があります。

## マニュアル・パーツ番号

5990-9838JAJP

### 版

2011年10月  
バージョン8.0.5.0

### テクノロジー・ライセンス

本書に記載されたハードウェア及びソフトウェア製品は、ライセンス契約条件に基づき提供されるものであり、そのライセンス契約条件の範囲でのみ使用し、または複製することができます。

### 制限付き権利の説明

本ソフトウェアが米国政府の主契約者または下請契約者によって使用される場合、本ソフトウェアは、DFAR 252.227-7014（1995年6月）に定められた“Commercial computer software”、またはFAR 2.101(a)に定められた“commercial item”として、またはFAR 52.227-19（1987年6月）またはそれに相当する政府機関の規制または契約条項に定められた“Restricted computer software”として提供され、ライセンスされます。本ソフトウェアの使用、複製、または公開は、Agilent Technologiesの標準商用ライセンス条件に従う必要があり、米国政府の国防総省以外の機関に与えられる権利は、FAR 52.227-19(c)(1-2)（1987年6月）に定められたRestricted Rightsを超えることはありません。あらゆる技術データに関して米国政府のユーザに与えられる権利は、FAR 52.227-14（1987年6月）またはDFAR 252.227-7015 (b)(2)（1995年11月）に定められたLimited Rightsを超えることはありません。

### 安全に関する注意事項

本器の操作のあらゆる段階において、安全に関する以下の一般的な注意事項を遵守する必要があります。これらの注意事項や、本書のほかの箇所に記載された特定の警告に従わないと、本器の設計、製造、意図した使用方法の安全基準に違反することになります。アジレントは、お客様がこれらの要件に従わない場合、一切の責任を負いません。

## 注意

注意の表示は危険を表します。ここに示す操作手順や規則などを正しく実行または遵守しないと、製品の損傷または重要なデータの損失を招くおそれがあります。指定された条件を完全に理解し、それが満たされていることを確認するまで、注意の指示より先に進まないでください。

## 警告

警告の表示は危険を表します。ここに示す操作手順や規則などを正しく実行または遵守しないと、怪我または死亡のおそれがあります。指定された条件を完全に理解し、それが満たされていることを確認するまで、警告の指示より先に進まないでください。

## 最新情報の入手方法

ドキュメントは定期的に更新されます。N5973A-1FP IFTの最新情報については、Webサイト ([www.agilent.co.jp/find/N5973A\\_software](http://www.agilent.co.jp/find/N5973A_software)) をご覧ください。

E6621A PXTの最新情報（操作およびアプリケーション情報、製品およびアクセサリ情報など）については、Webサイト ([www.agilent.co.jp/find/pxt](http://www.agilent.co.jp/find/pxt)) をご覧ください。

8960の最新情報（操作およびアプリケーション情報、製品およびアクセサリ情報など）については、Webサイト ([www.agilent.co.jp/find/8960](http://www.agilent.co.jp/find/8960)) をご覧ください。

## ご使用のソフトウェアは最新ですか？

Agilentでは、不具合の修正や機能拡張のために、ソフトウェア・アップデートを定期的にリリースしています。Agilent N5973A-1FPのソフトウェア・アップデートを検索するには、テクニカル・サポートのWebサイト ([www.agilent.co.jp/find/N5973A\\_software](http://www.agilent.co.jp/find/N5973A_software)) をご覧ください。

<b>注 記</b>	N5973A-1FP固有の情報については、上記のWebサイトに詳細情報が記載されています。通常、すべてのPXTソフトウェアはWebサイト ( <a href="http://www.agilent.co.jp/find/softwaremanager">www.agilent.co.jp/find/softwaremanager</a> ) からダウンロードできます。すべての8960ソフトウェアはWebサイト ( <a href="http://www.agilent.co.jp/find/wlcontract">www.agilent.co.jp/find/wlcontract</a> ) からダウンロードできます。
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>重 要</b>	これら2つの製品の最新のソフトウェアを入手するには、8960に対するAgilentアップグレード契約（AUC）とPXTに対するソフトウェア／テクニカル・サポート契約（STSC）が必要です。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

このページは空白です。

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに.....</b>	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>システム構成およびコンポーネントの概要.....</b>	<b>2</b>
	無線テスト・セットおよび PC 要件.....	2
	テスト・セットアップ構成：LTE – CDMA InterRAT ハンドオーバー.....	2
<b>3</b>	<b>インストール.....</b>	<b>3</b>
	ファイルの場所.....	3
	ユーザ・データの場所.....	3
	ソフトウェア・アプリケーションの場所.....	3
	以前の IFT ファイルのバックアップ.....	4
	IFT サーバ PC.....	4
	アンインストール.....	4
	インストール.....	4
	IFT クライアント PC.....	4
	アンインストール.....	4
	インストール.....	4
	64 ビット版 MS Window 7 PC へのインストール後.....	4
	ライセンス.....	6
<b>4</b>	<b>システムの設定.....</b>	<b>7</b>
	テスト・セットアップ構成：LTE – CDMA InterRAT ハンドオーバー.....	7
	セットアップ手順.....	8
	E-EPC-E IP アドレスの設定.....	10
	UE の設定.....	11
<b>5</b>	<b>サービスおよびサポート.....</b>	<b>14</b>
	Agilent Technologies へのお問い合わせ.....	14
	Web ベースのサポート.....	14
	電子メール・サポート.....	14
	お問い合わせ先.....	15

このページは空白です。

## 1 はじめに

**Agilent N5973A-1FP LTE-CDMA InterRAT用IFTスクリプトのインストール・ガイド**へようこそ。このガイドは、Agilent N5973A-1FPのインストールおよびライセンスの手順について説明します。

本書の記載内容は次のとおりです。

[システム構成およびコンポーネントの概要](#)

[インストール](#)

[システムの設定](#)

[サービスおよびサポート](#)

## 2 システム構成およびコンポーネントの概要

このセクションでは、N5973A-1FPの使用に必要なコンポーネントの概要と、LTE-CDMA InterRATの操作のためのテスト・セットアップ構成のダイアグラムについて説明します。

### 無線テスト・セットおよびPC要件

詳細については、N5973A-1FPのリリース・ノート ([www.agilent.co.jp/find/N5973A\\_software](http://www.agilent.co.jp/find/N5973A_software)) をご覧ください。

### テスト・セットアップ構成：LTE – CDMA InterRATハンドオーバ

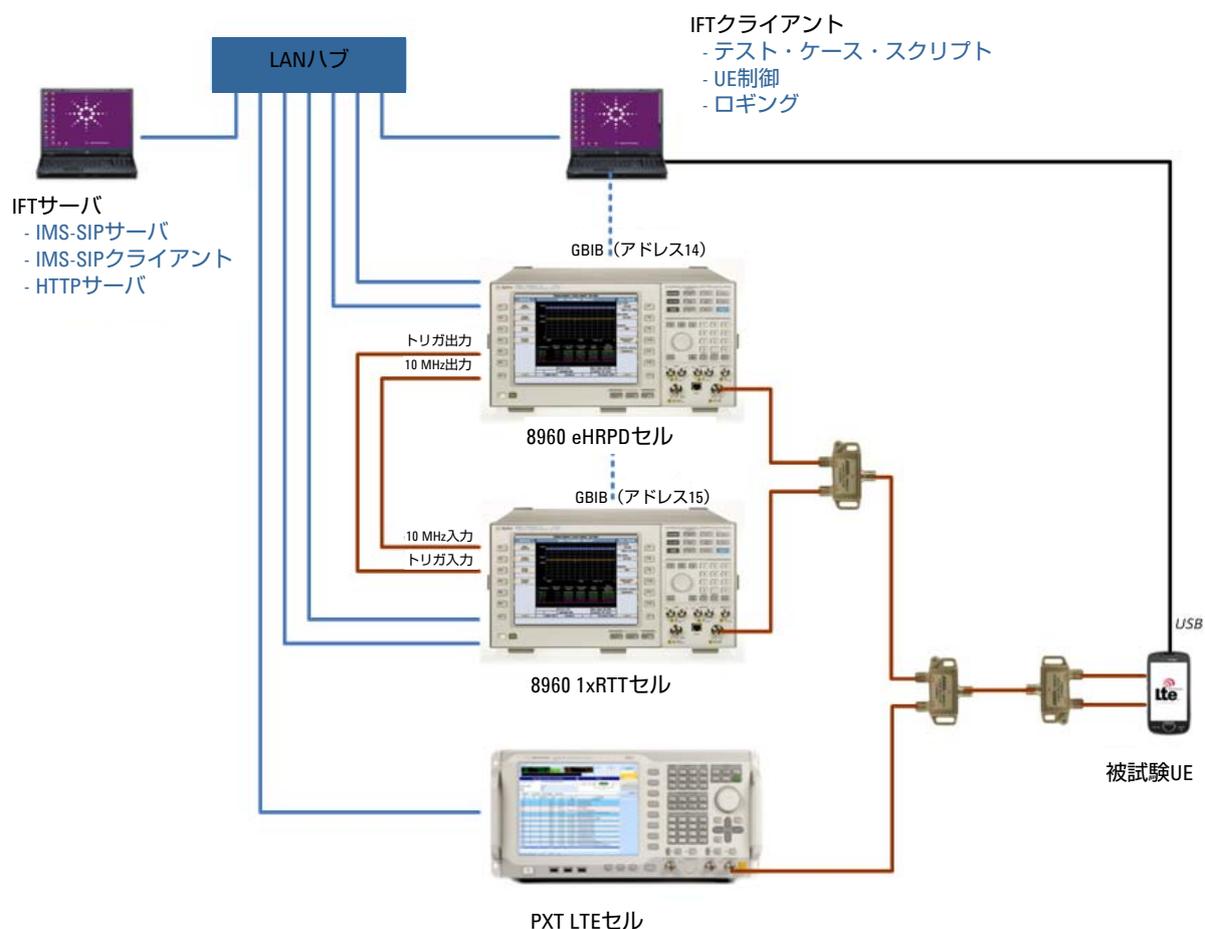


図 2-1：システム構成（第 4 章の図と同じ）

## 3 インストール

### ファイルの場所

#### ユーザ・データの場所

Windows 7 : C:\Users\Public\Public Documents\Agilent

Windows XP : C:\Documents and Settings\All Users\Shared Documents\Agilent

#### 注 記

上記のようにディレクトリのパスが異なるため、このマニュアルではこれらの「ユーザ・データ」の場所を<OS Public Agilent>と表記しています。

#### ソフトウェア・アプリケーションの場所

この製品に必要なソフトウェア・アプリケーションは、以下からダウンロードできます。「ソフトウェア要件」については、[7](#)ページの表4-1を参照してください。

テスト・システムのコンポーネント	ソフトウェアの場所
N5973A-1FP	<a href="http://www.agilent.co.jp/find/N5973A_software">www.agilent.co.jp/find/N5973A_software</a>
N5971A	<a href="http://www.agilent.co.jp/find/wlcontract">www.agilent.co.jp/find/wlcontract</a>
N597X	<a href="http://www.agilent.co.jp/find/wlcontract">www.agilent.co.jp/find/wlcontract</a>
E6621A	<a href="http://www.agilent.co.jp/find/softwaremanager">www.agilent.co.jp/find/softwaremanager</a> <sup>1</sup>
E5515C 8960 (eHRPD)	<a href="http://www.agilent.co.jp/find/wlcontract">www.agilent.co.jp/find/wlcontract</a>
E5515C 8960 (1xRTT)	<a href="http://www.agilent.co.jp/find/wlcontract">www.agilent.co.jp/find/wlcontract</a>
E6584A (WPA)	<a href="http://www.agilent.co.jp/find/E6584A">www.agilent.co.jp/find/E6584A</a>
Agilent IOライブラリ	<a href="http://www.agilent.co.jp/find/iosuite">www.agilent.co.jp/find/iosuite</a>
N5973A-SIM	計測お客様窓口までお問い合わせください

1. 上記のソフトウェア・マネージャのWebサイトにアクセスするには、E6621Aのソフトウェア/テクニカル・サポート契約 (STSC) のアクティベーションが必要です。また、アクティベーションにはユーザにより登録されたログイン認証情報が必要です。STSCのアクティベーションの詳細については、**Agilent PXT Wireless Communications Test Set Getting Started Guide**のライセンスに関するセクションを参照してください。

## 以前のIFTファイルのバックアップ

### 重要

IFTサーバまたはIFTクライアントPCが、すでに他の製品とともに使用できるようにセットアップされている場合は、先に進む前に、保存しておきたいファイルをバックアップすることをお勧めします。バックアップが必要なファイルの保存先については、上記の「[ユーザ・データの場所](#)」のセクションを参照してください。

## IFTサーバPC

### アンインストール

1. N597X
2. 現在のSMS

### インストール

- N597X (バージョン A.08.00 以上)

### 注記

インストール完了後、Filezillaで**Always connect**を選択してください。

## IFTクライアントPC

### アンインストール

1. N5971A
2. 次の2つのディレクトリから、すべてのフォルダおよびファイルを削除します。
  - [<OS Public Agilent>\N5971A](#)
  - C:\Program Files\Agilent\N5971A

### インストール

1. WPA (バージョン A.10.01 以上)
2. Agilent IO ライブラリ (バージョン 16 以上)
3. N5971A (バージョン A.08.00 以上)

### 注記

インストール中にLAN接続を選択するように求められた場合は、「LAN」を選択します。「WLAN」は**選択しないでください**。

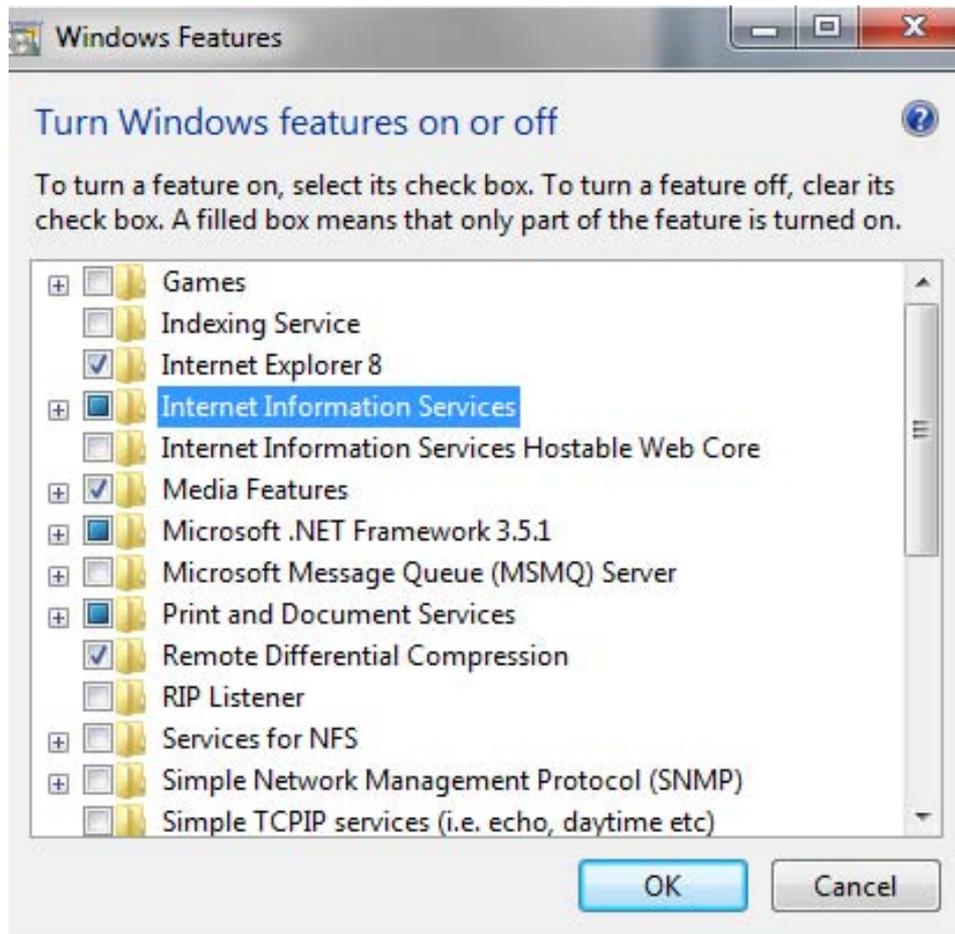
4. N5973A-1FP (A.8.0.5.0 以上)

## 64ビット版MS Window 7 PCへのインストール後

64ビット版のMS Windows 7オペレーティング・システムを使用するPCで上記のインストール手順を完了した場合、World Wide Web サービスおよびWindows Communication Foundation HTTP Activationを有効にする必要があります。

これらのオプションにアクセスするには、**スタート > コントロールパネル > プログラム > プログラムと機能 > Windows の機能の有効化または無効化**を選択します。

次のウィンドウが表示されます。

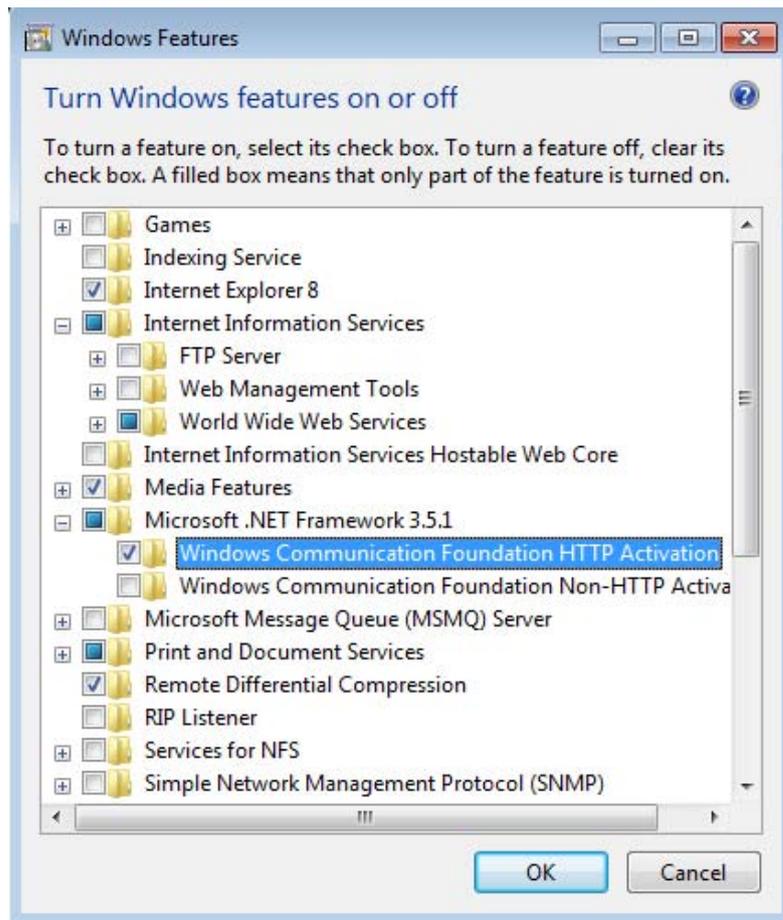


**Internet Information Services**の階層を表示し、**World Wide Web サービス**を選択します。

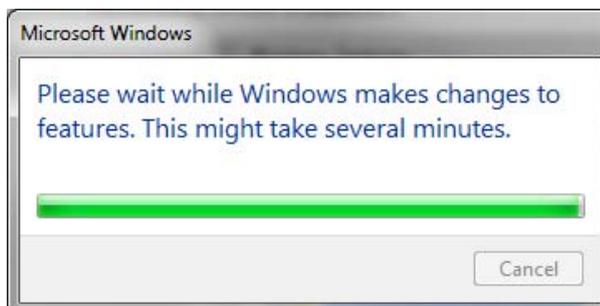
**Microsoft .NET Framework 3.5.1**の階層を表示し、**Windows Communication Foundation HTTP Activation**を選択します。

## Agilent N5973A-1FP LTE-CDMA InterRAT 用 IFT スクリプト インストール・ガイド

設定が次のように表示されます。



OKを選択し、設定変更の完了を示す次のメッセージ・ウィンドウが閉じるまで待機します。



## ライセンス

N5973A-1FPを単体またはN5971Aとともに購入した場合は、「ライセンス証明書」が送付されます。この証明書の指示に従い、製品のライセンス・キーを取得してください。

### 注記

N5971AおよびN5973A-1FPは、両方ともホストPCにインストールされたソフトキーを使用してライセンスされます。以前のN5971A-1TP用の物理USBライセンス・キーは現在発行されていませんが、N5971Aをライセンスするために使用することがあります。その場合は、ホストPCのUSBポートに挿入して使用します。

## 4 システムの設定

### テスト・セットアップ構成：LTE – CDMA InterRATハンドオーバ

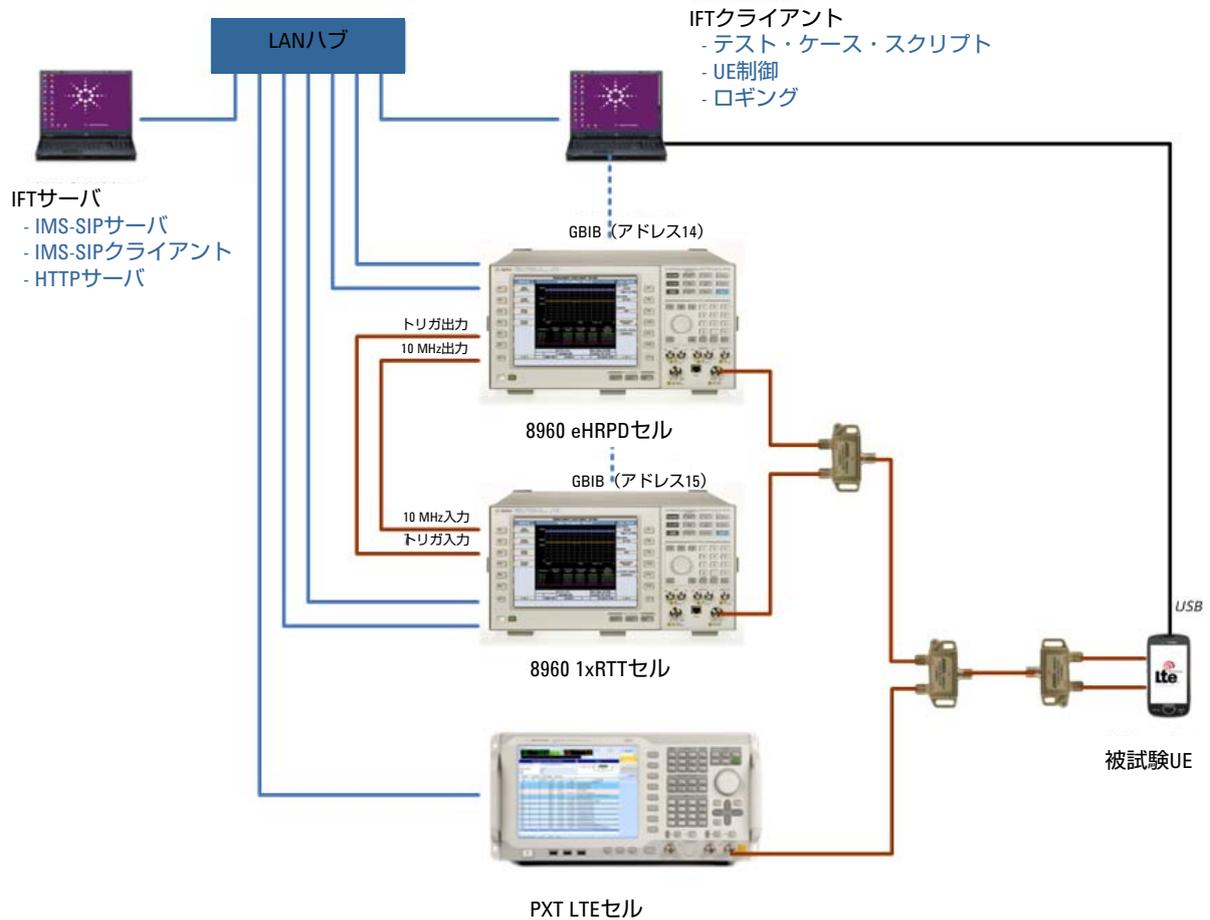


図 4-1：システム構成（第 2 章の図と同じ）

表 4-1：ソフトウェア・アプリケーションの要件

セル	製品	概要	バージョン
E5515C 8960 (eHRPD)	E6706E	1xEV-DOラボ・アプリケーション	E.00.06以上
E5515C 8960 (1xRTT)	E6702E	cdma2000ラボ・アプリケーション	E.00.06以上
E6621A PXT (LTE)	N6050A	LTE FDD基地局エミュレーション	6.1.2.0以上
	N6052A	LTE拡張BSEおよびIPデータ・テスト	6.1.2.0以上

## セットアップ手順

### 注記

表または本文でのE6621A PXTのキー・パスについては、測定器のフロントパネル・キーが**太字**、ソフトキーが**イタリック体の太字**で表記されています。

1. 上の図4-1に示すようにすべてのコンポーネントを接続し、上の表4-1に示すようにすべての無線テスト・セットに適切なソフトウェアをロードします。
2. 下の表4-2に示されるように、すべてのコンポーネントを次のIP/GPIBアドレスに設定します。
3. TCP/IPにPXTを設定してリモート制御を行うには、**Config > Network Setup > Remote Ctrl Setup > TCP/IP > Apply** を押します。

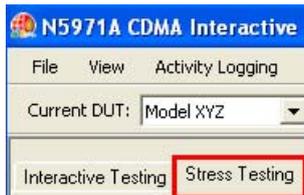
表 4-2：コンポーネント IP/GPIB アドレス

コンポーネント	IP	サブネット・マスク	ゲートウェイ	GPIBアドレス
IFTクライアントPC	192.168.1.11	255.255.255.0	192.168.1.60	
IFTサーバPC	192.168.1.230	255.255.255.0	192.168.1.60	
<b>8960 (eHPRD)</b>				14
8960 LAN IP アドレス <sup>1</sup>	192.168.1.13	255.255.255.0	192.168.1.60	
8960 LAN IP アドレス2 (データ+) <sup>1</sup>	192.168.1.14	255.255.255.0	192.168.1.60	
<b>8960 (1xRTT)</b>				15
8960 LAN IP アドレス <sup>1</sup>	192.168.1.16	255.255.255.0	192.168.1.60	
8960 LAN IP アドレス2 (データ+) <sup>1</sup>	192.168.1.17	255.255.255.0	192.168.1.60	
<b>PXT (LTE) <sup>2</sup></b>				
PXT IP	192.168.1.60	255.255.255.0	192.168.1.230	
<b>E-EPC-E</b>	これらの設定を行うには、 <b>10</b> ページの「 <b>E-EPC-E IPアドレスの設定</b> 」を参照してください。			
<b>UE</b>	これらの設定を行うには、 <b>11</b> ページの「 <b>UEの設定</b> 」を参照してください。			

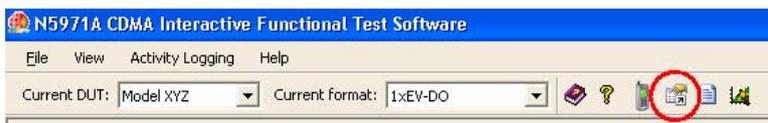
1.この設定には、**System Config > F1**からアクセスします。これは8960のディスプレイ上で「Instrument Setup」とラベル付けされます。また、「F1 - Instrument Setup」と呼ばれる場合もあります。

2.実際の設定は「IP」で、**TCP/IP Setup**メニューの一部です。このメニューにアクセスするには、**Config > Network Setup > IP Setup**を選択し、設定を変更した後、**OK**を選択します。

- 「irat\_Idle.LBMF」という名前のE6621A PXTシナリオ・ファイルを、  
IFTクライアントPCの  
<OS Public Agilent>\N5971A\TestData\LteCdmaInterRatDocs\ScenarioFiles  
から、PXT (LTE) の  
D:\Program Files\Agilent\E6621A\LTE-Scenarioにコピーします。
- IFTクライアントPCで、N5971Aを起動します。
- メインで使用するIFTアプリケーション上で、**Stress Testing**タブを選択します。



- 下の図の赤線で囲んだ部分に表示されているアイコンをダブルクリックし、N5971A Scripting Toolを表示します。



- 「Initialize」テスト・スクリプトを実行し、IFTクライアントPC上の設定がすべて正しいことを確認します。  
必要に応じて、次の場所にあるSettings.xmlファイル内の**A8960\_GpibInterface**設定を変更します。

<OS Public Agilent>\N5971A\TestData\LteCdmaInterRatDocs

設定変更は、測定器の構成に合わせて行います。

- IFTクライアントPCにUUTを接続し、使用するCOMポートを決定します。

マイコンピュータを右クリックして**プロパティ > ハードウェア > デバイスマネージャ > モデム**を選択し、UUTへのUSB接続を探します。このポートの数は、次の場所にあるUE固有の設定ファイルの**UutComPort**設定に追加する必要があります。

<OS Public Agilent>\N5971A\TestData\LteCdmaInterRatDocs

## 重要

N5971Aが実行中の場合は、一度終了して再起動し、変更を有効にする必要があります。

## E-EPC-E IPアドレスの設定

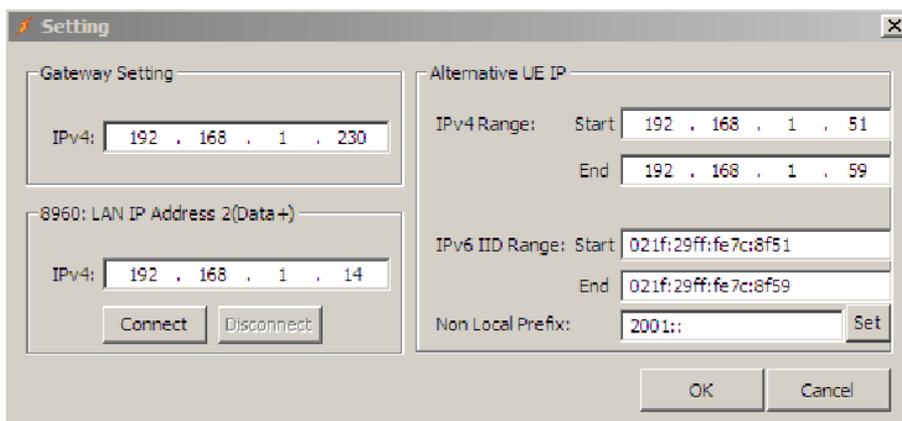
### 注記

E-EPC-E (Embedded-Evolved Packet Core-Entity) IPアドレスを設定するには、PXTにUSBマウスおよびキーボードを接続する必要があります。

E-EPC-Eセットアップ・メニューにアクセスするには、下の図のようにMS Windows画面下のタスク・バーにあるオレンジ色のアイコンを右クリックし、**Setting**を選択します。



次のウィンドウが表示されます。



PXT (LTE) に接続したマウスおよびキーボードを使用して、使用するシナリオ・ファイルに必要な設定値を挿入します。

### 注記

上の図の設定は、ステップ4でロードしたシナリオ・ファイル (irat\_Idle.LBMF) に設定された値です。

### 重要

interRATハンドオーバーの場合は、8960 (eHRPD) またはPXT (LTE) 上でIP Contextを開始する前に、E-EPC-Eを8960 (eHRPD) に接続する必要があります。これを行うには、上のウィンドウの図にある**Connect**ボタンを使用するか、8960 (eHRPD) 上の適切なページから接続を開始します。先に進む前に、8960 (eHRPD) の「EPC Connection Status」が「Connected」になっていることを確認してください。

## ゲートウェイ設定

これは、IPデータが送られるサブネットに関係なく、InterRATのテスト中にすべてのUEアップリンクIPデータが送られる場所です。interRATハンドオーバーの手順に従って設定する場合、このIPアドレスはすべてのUE IPトラフィックのターゲットとなり、IFTサーバのIPアドレスに設定されます。コーポレートLAN上で使用する場合は、このIPアドレスはネットワークの**デフォルト・ゲートウェイ**に設定されます。

## 8960: LAN IPアドレス2 (データ+)

**8960 LAN IPアドレス2 (データ+)** に設定します。8960上の両方のLANソケットがテスト・ネットワークに接続されていることを確認します。

## 代替UE IP

### IPv4範囲

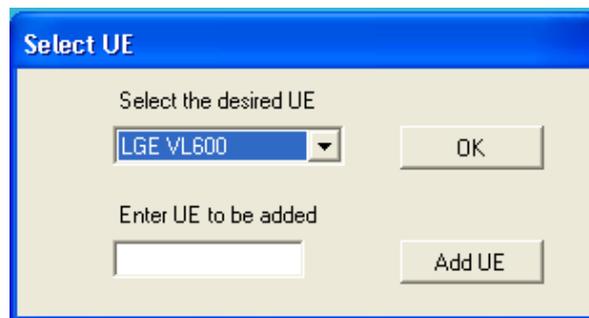
これは、UEが8960に接続され、IPv4アドレスを要求する場合に使用されるIPv4アドレスの範囲です。interRATハンドオーバーに使用されるシナリオ・ファイルすべてと一致する必要があります。

### IPv6 IID範囲

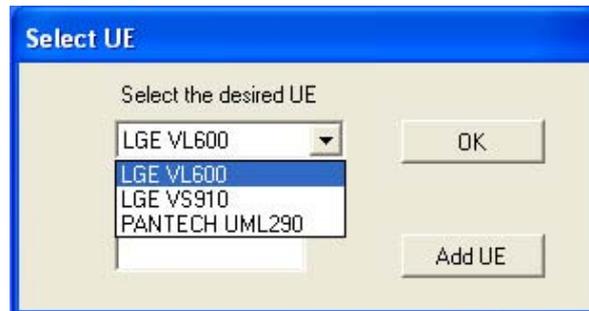
これは、UEが8960 (eHRPD) に接続され、IPv6アドレスを要求する場合に使用されるIPv6アドレスの範囲です。interRATハンドオーバーに使用されるシナリオ・ファイルすべてと一致する必要があります。

## UEの設定

「Initialize」スクリプトを実行すると、次のメッセージ・ボックスが表示されます。

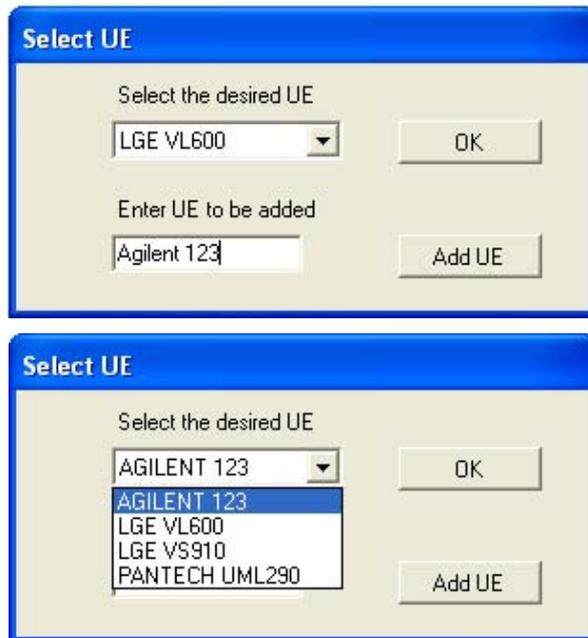


ドロップ・ダウン・リストからUEを選択するか、新しいUEを追加します。



ドロップ・ダウン・リストに表示されるUEは、Settings.xmlファイルにある**AvailableUe**設定で定義されたUEです。

**Add UE** を選択すれば、**Enter UE to be added** フィールドで定義された新しい UE がドロップ・ダウン・リストに追加されます。しかし、この UE は N5971A を再起動するとリストから削除されます。



**OK** を選択すると、次の場所にこの UE のためのデフォルト UE 固有設定ファイル（存在しない場合）が生成されます。

C:\Documents and Settings\  
All Users\Documents\Agilent\N5971A\TestData\LteCdmaInterRatDocs\AGILENT 123.xml

表 4-3 : UE 固有設定ファイルの構成

<b>注記</b>	フィールド列に見られる「Uut」は、「被試験 UE」を表します。
-----------	----------------------------------

フィールド	概要
UutDeviceName	IFTクライアントPCにUEを接続するためのデバイス名です。 これには <b>route print</b> コマンドを使用しますが、 <b>Interface List</b> でこのUEを一意に識別するために十分な文字数を含んでいる必要があります。
UutComPort	IFTクライアントPCにUEを接続し、使用するCOMポートを決定します。
UutBaudRate UutDataBits UutStopBits UutParity UutFlowCtrl	UEハイパー・ターミナルの設定に使用されます。

表 4-3 : UE 固有設定ファイルの構成 (続き)

フィールド	概要
UutAtCmdxxx	値が「MAN%」で始まる場合は、ATコマンドが使用できず、ユーザがこのステップを手動で実行することが求められることを示します。 値が「AT」で始まる場合は、ATコマンドが定義され、このステップは自動的に実行されます。
UutAtCmdTest	ATコマンドをUEに送信可能であることを確認するために使用します。
UutAtCmdResetDevice	UEのリセットに使用します。
UutAtCmdConnectToLte UutAtCmdConnectToEvdo UutAtCmdCheckForNetwork	ネットワークにUEを接続するために使用します。
UutAtCmdSendTestMessage UutAtCmdSetDestinationAddress UutAtCmdSetCallbackNumber SmsDomain SmsLocalUserName SmsRemoteUserName SmsTestMessage	SMSをUEに送信するために使用します。
LteRfAmplitude	PXTのRF振幅を設定します。
LteRefLevel	PXTの基準レベルを設定します。
ImsPdnId	UEから返されるIMS PDN IDの値を定義します。
InternetPdnId	UEから返されるインターネットPDN IDの値を定義します。

## 5 サービスおよびサポート

### Agilent Technologiesへのお問い合わせ

Agilent Technologiesの営業所は世界中にあり、製品に関するあらゆるサポートを提供しています。ヘルプ、サービス情報の入手、交換部品のオーダーについては、最寄のAgilent Technologies営業所にお問い合わせください（[15ページ](#)をご覧ください）。お問い合わせの際には、製品番号、シリアル番号、ソフトウェア・リビジョン、その他の関連する契約番号が必要となります。

### Webベースのサポート

次のWebサイトから、サポート要求をオンラインで直接入力し、管理することができます。

[www.agilent.co.jp/find/mysupportcenter](http://www.agilent.co.jp/find/mysupportcenter)

My Support Centerを最初に使用するときに、プロフィールの作成とライセンスの証明が求められます。プロフィールを作成した後、オンライン・サポート・センタを使用してサポート要求を入力できます。

各サポートごとに固有の番号が付与され、その番号を使ってサポート・ケースの進捗を確認することができます。問題を解決するために、テクニカル・エキスパートから電話または電子メール（オプションで選択した方法）で連絡があります。

英語、日本語、韓国語、標準中国語でのサポートが受けられます。

### 電子メール・サポート

次の電子メール・アドレスを使用して、テクニカル・サポートに問い合わせることもできます。

- [wireless\\_test\\_support\\_americas@agilent.com](mailto:wireless_test_support_americas@agilent.com)
- [wireless\\_test\\_support\\_japan@agilent.com](mailto:wireless_test_support_japan@agilent.com)
- [wireless\\_test\\_support\\_europe@agilent.com](mailto:wireless_test_support_europe@agilent.com)
- [wireless\\_test\\_support\\_asia@agilent.com](mailto:wireless_test_support_asia@agilent.com)
- [wireless\\_test\\_support\\_korea@agilent.com](mailto:wireless_test_support_korea@agilent.com)

サポート要求は技術担当者に送られます。問題の解決を支援するために、技術担当者から電子メールまたは電話（オプションで選択した方法）で連絡があります。

英語、日本語、韓国語、標準中国語でのサポートが受けられます。

## お問い合わせ先

オンライン・アシスタンス：<http://www.agilent.co.jp/find/assist>

インターネットにアクセスできない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。最寄のお客様窓口をご案内いたします。

現行のE6621A用STSCをお持ちの場合は、[14](#)ページにリストされている電子メール・アドレスからお問い合わせできます。

適合宣言が必要な場合は、最寄りの計測お客様窓口までお問い合わせください。またはAgilentのWebサイト ([www.agilent.co.jp](http://www.agilent.co.jp)) をご覧ください。

### アメリカ大陸

ブラジル  
(11) 4197 3500  
米国  
(800) 829 4444

カナダ  
(877) 894 4414

メキシコ  
01800 5064 800

### アジア太平洋

オーストラリア  
1 800 629 485  
中国  
800 810 0189  
香港  
800 938 693  
その他のアジア諸国

インド  
1 800 112 929  
日本  
0120 (421) 345  
韓国  
080 769 0800

マレーシア  
1 800 888 848  
シンガポール  
1 800 375 8100  
台湾  
0800 047 866

[www.agilent.co.jp/find/contactus](http://www.agilent.co.jp/find/contactus)

### 欧州および中東

オーストリア  
43 (0) 1 360 277 1571  
ベルギー  
32 (0) 2 404 93 40  
デンマーク  
45 70 13 15 15  
フィンランド  
358 (0) 10 855 2100  
フランス  
0825 010 700\*

ドイツ  
49 (0) 7031 464 6333  
アイルランド  
1890 924 204  
イスラエル  
972-3-9288-504/544  
イタリア  
39 02 92 60 8484  
オランダ  
31 (0) 20 547 2111

スペイン  
34 (91) 631 3300  
スウェーデン  
0200-88 22 55  
スイス  
0800 80 53 53  
英国  
44 (0) 118 9276201

\*0.125 €/分

その他の欧州および中東

[www.agilent.co.jp/find/contactus](http://www.agilent.co.jp/find/contactus)

